堅下南小学校

校長室だより

R7．12．2　No．11

インフルエンザも落ち着いて

　インフルエンザが流行すると報道されていて、学校でも警戒していたのですが、南小校区でもたくさんの児童がインフルエンザにかかるという状況になりました。１１月の第２週から、どこかのクラスが学級閉鎖になっている、という状況が２週間あまりも続きました。現在は落ち着いていますが、次は型の違うインフルエンザが流行しだした、ということもあり得る話ですので、家に帰ったら、うがい手洗い、しっかり栄養を取って、早寝早起きと、規則正しい生活を子どもたちが過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。

南小まつり

　１１月２８日（金）、南小まつりが行われました。

　南小まつりは、話し合い、協力してやり遂げることを通し、学級や学年の連帯感を深め自治能力を高めることや、協力する態度・責任感・所属感を育てること、友達や異年齢の仲間との交流を深めることを目的としています。ですから、当日だけでなく、それまでの過程も大事にしています。各学年・学級がそれぞれ集まって話し合いを行い、お店の企画を考えます。そして、制作・準備も協力して行い、お店に人が来てもらえるように各学年でＣＭもつくります。

　ただ、今年は学級閉鎖がいくつかの学級で起こったこともあり、ＣＭをいっせいに見るということはできず、各学級で時間を見つけてＣＭを見るとか、まつりの準備も直前にずれ込むなど、例年以上に苦労も多かったようです。

　当日を迎えました。児童会が校内放送で行う司会の合図で南小まつりが始まりました。前半後半に分かれて、店番とお客さんになります。

　出ている店も、さかなつり、コインおとし、わりばしタワー、ぶどうさがし、ふうせんバレー、めいろ、ボッチャ、かくづけクイズ、脱出ゲーム等、それぞれいろんな趣向を凝らしたものばかりで、子ども達の想像力、企画力には目を見張るものがありました。また、今年もまどか保育園の園児たちが来てくれました。とても楽しい１日となりました。